

テニユア・トラック教員 難波 卓司 (なんば たくし) 総合研究センター特任助教が、公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団の平成 26 年度研究助成に採択されました。

難波 卓司総合研究センター特任助教が、公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団の平成 26 年度研究助成に採択され、11 月 7 日(金)に東京銀行ビルディング内 銀行倶楽部 3 階大ホール (東京都千代田区丸の内) にて開催された平成 26 年度贈呈式に出席いたしました。

難波特任助教は、研究助成課題「創薬とその臨床応用に関する研究」において、『**膵臓癌細胞における抗癌剤耐性化機構の解明と抗癌剤に再び感受性化させる既存薬の発見**』という研究テーマにて交付対象者に選ばれました。

本研究は、膵臓癌におけるゲムシタビンの耐性化機構を分子レベルで明らかにするという基盤研究を推進し、且つ既存薬を利用することで基礎研究の成果を迅速に臨床試験へ応用することを目指すものです。

